

グループ名	体育を学ぶ会		
研究テーマ	児童の運動の楽しさや学びを大切にする体育学習の在り方		
分 野	授業力向上 (対象校種) 小学校 (対象教科) 体育		
研究のねらい	「克服」「達成」「洗練」という3つの特性と児童の発達段階との関係を踏まえて、児童の課題解決を図る学習過程について検討し、児童の学びを大切にした体育学習の在り方を探る。		
研究・活動の概要	<p>跳び箱運動の各発達段階のねらいと特性を踏まえて、児童のめあてや課題と、教師のねらいや役割と検討し、児童が主体的に学んでいく体育学習の在り方を探った。「跳び箱運動」の領域において、3つの実践授業を行い、月1回の学習会では、単元計画や指導案の検討、実践授業の事前検討・事後検証に取り組んだ。</p> <p>実践授業Ⅰ：東四郎丸小学校 3年生「跳び箱運動」</p> <p>実践授業Ⅱ：沖野小学校 4年生「跳び箱運動」</p> <p>実践授業Ⅲ：小松島小学校 5年生「跳び箱運動」</p>		
成果と課題	<p>児童のめあてを整理・分類したり、児童のつぶやきや運動の姿等を検討したりしたところ、2つの成果が得られた。1つ目は、「跳び箱運動」における3つの特性の捉え方を見直すことができたことである。2つ目は、中・高学年における児童の自主的・自発的な学びを促す過程を1つのモデルとして整理することができたことである。一方で、児童の発達段階に応じた跳び箱運動の出合い方や、めあての持ち方、学習過程の在り方の3点が課題として挙がった。</p>		
構成員(4)名			
氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名
(代表)佐々木貴幸 青沼 佳 佐藤 裕子 内海 智	小松島小・教諭 沖野小・教諭 東四郎丸小・教諭 桂小・教諭		